

神奈川県食品ロス削減推進計画に係る目標の達成状況

1 計画の概要

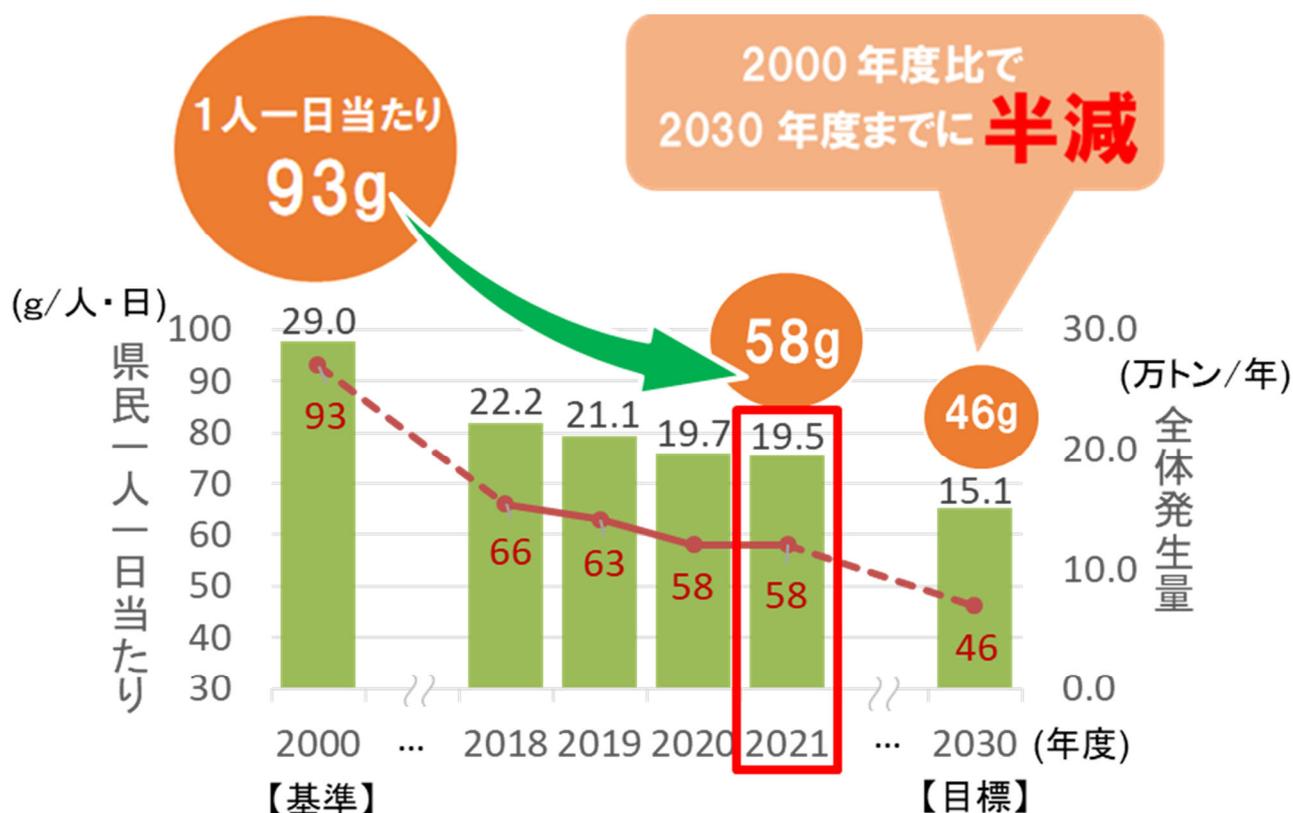
- (1) 計画期間 2022年度から2030年度までの9年間
- (2) 根拠 食品ロスの削減の推進に関する法律第12条第1項
- (3) 計画の目指す姿
県民1人ひとりが、食品ロスの削減を「自分事」として捉え、削減の取組を「実践」する社会の実現
- (4) 食品ロスの削減目標
食品ロス量を、2000年度比で2030年度までに半減

2 本県の食品ロスの現状と目標の達成状況

(1) 家庭系食品ロス量

家庭系食品ロス量の削減目標は、県民1人1日当たりの食品ロス量を2000年度比で2030年度までに半減（93g→46g）としています。

2021年度における家庭から出る食品ロス量は19.5万トンで、県民1人1日当たりの食品ロス量に換算すると58gとなっており、2000年度比で約35g削減（▲37%）されており、2030年度半減に向けて削減傾向で推移しています。



グラフ1 県民1人1日当たりの家庭系食品ロス量

(2) 事業系食品ロス量

事業系食品ロス量の削減目標は、県内で発生する食品ロス量を 2000 年度比で 2030 年度までに半減（44.2 万トン→22.1 万トン）としています。

2020 年度における事業系食品ロス量は 20.9 万トンとなっており、2000 年度比で約 23.3 万トン削減（▲53%）されています。

2018 年度以降、削減傾向が続き、2020 年度に目標値である 22.1 万トン以下を達成していますが、この削減は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として実施された、飲食店等の営業自粛による発生量の削減が大きく影響していると考えられるため、次年度以降も発生量の推移を注視する必要があります。



3 まとめ

グラフ2 県内で発生する事業系食品ロス量

県はこれまで、県民への普及啓発として「3010 運動」及び「食べきり」の呼びかけや、市町村向けの食品ロス実態調査マニュアルの策定など、食品ロスの削減に向けた取組を行ってきました。さらに、2022 年 3 月以降は、神奈川県食品ロス削減推進計画に基づき、事業者や関係団体、市町村と連携しながら、その取組を強化しています。

その結果、県内の家庭系食品ロス量については、県民による日常生活の中における食品ロス削減の取組等により、削減傾向で推移していますが、目標の達成に向け、さらに施策の取組を強化する必要があります。

また、事業系食品ロス量については、目標値である 22.1 万トン以下を達成していますが、これは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として実施された、飲食店等の営業自粛による発生量の削減が大きく影響していると考えられるため、次年度以降も発生量の推移を注視する必要があります。

今後とも、計画の施策の柱である、「教育及び学習の振興・普及啓発」、「食品関連事業者等の取組に対する支援」及び「未利用食品を提供するための活動の支援」等の取組について、引き続き、消費者、事業者、NPO 等の関係団体等と連携・協働しながら、進めていきます。